JOB No. 02

預金・融資・為替などの銀行業務
個人や会社への相談・提案

銀行員

▶▶ 職場ではこんな人も働いています

- まちづくりコンサルタント
- 地域産品販売支援
- AI・デジタル活用
- 広報
- 経営企画
- 人事

この仕事のキーワード

- □ 預金
- □ 融資
- □ 為替
- □ 相談・提案
- □ 信頼関係
- □ 地域貢献

こんな人に向いています

- □ 人の話をよく聞ける
- □ 人の役に立つことができる
- □ 相手の立場で考えられる
- □ 約束や決まりを大切にできる
- □ 新しいことを学ぶことが好き
- □ 地域を元気にしたい



お金を通じて、地域と人々の暮らしを応援する

銀行には、お客さまの大切なお金を預かる「預金」、人や会社に必要なお金を貸す「融資」、振込や送金などでお金の橋渡しをする「為替」などの仕事があります。銀行員は「お金を数える仕事」と思われがちですが、実際はお客さまの人生や会社の夢を支える仕事です。家を建てる時や子どもの進学などの人生の節目に関わることができ、「あなただから安心して任せられる」「ありがとう」と言ってもらえることが、大きなやりがいです。

CHECK

私たちがこの仕事に就いたきっかけ

生まれ育った山口県で、地域の役に立ちたいと思い、銀行員を目指しました。銀行員がお客さまの話をていねいに聞き、一人ひとりに寄りそって、支える姿に魅力を感じました。地元で働き、地域に恩返しできることにやりがいを感じています。

入社３年目　廣谷さん
入社２年目　河野さん
入社２年目　細井さん



銀行員の仕事内容

毎日の暮らしを支える「窓口担当」

窓口でお客さまと向き合い、お金の預け入れや引き出し、振込などの手続きをします。わかりやすい言葉で説明するように心がけながら、口座の開設などを担当します。



人生設計に寄りそう「個人担当」

家や車の購入、子どもの進学、老後など、お金が必要な場面はたくさんあります。お客さまの将来を考え、お金の貯め方や増やし方、ローンの使い方を一緒に考えます。



会社の成長を支える「法人担当」

会社を訪問し、新しいビジネスや事業の拡大に必要な資金を融資します。お金の相談だけでなく、取引先の紹介や、デジタル技術を使った業務の改善、会社を次の世代へ引き継ぐ支援など、経営の困りごとにも、お客さまと一緒に向き合います。





CHECK



必要な資格・スキル

- 銀行員になる際に必要な資格はありません。会社の支援制度を活用しながら、自分の目指す姿に近づくために、必要な知識やスキルを少しずつ身につけていきます。
- 入社後は、研修や日々の仕事を通じて、金融の知識やお客さまへの接し方を学びます。先輩社員のサポートを受けながら、少しずつ仕事の幅を広げていきます。

この世界で。この街で。このじぶん。

株式会社山口フィナンシャルグループ
（山口銀行 / もみじ銀行 / 北九州銀行）

下関市竹崎町4-2-36　TEL／083-223-5511（代表）
設立／2006年10月　従業員数／3,459 名（2026年3月末現在･連結）
拠点数／山口銀行：126拠点（2026年3月末現在）
もみじ銀行：103拠点、北九州銀行：37拠点（2026年3月末現在）



YMfg 山口銀行

HP　Instagram

会社見学 OK　職場体験 OK　出張授業 OK

山口フィナンシャルグループでは、地域を元気にするこんな取り組みもしています



市と会社をつないだ、まちづくり

山陽小野田市と会社が力を合わせて「A-SQUARE」を整備しました。私たちはその橋渡し役となり、市の窓口や銀行などが集まる場所づくりを進めました。



子どもたちの「おしごと体験」を応援

山口銀行は、「こどもシゴト博 in 山口」に出展しました。子どもたちが銀行の仕事を体験しながら、お金の大切さや銀行の役割を学び、地域の仕事や働くことについて考えるきっかけをつくりました。



旅館の未来をつなぎ、まちに新しいにぎわいを

長門湯本温泉の老舗旅館を、宿泊や食事などを楽しめる施設「SOIL Nagatoyumoto」に生まれ変わらせました。訪れた人が温泉街を歩いて楽しむことで、まち全体がにぎやかになっています。



スポーツを通じて地域を元気に

山口銀行は、プロサッカークラブ「レノファ山口 FC」のオフィシャルトップパートナーです。ユニフォーム協賛や山口銀行の名前をつけた試合などを通じて、チームを応援し地域を盛り上げています。

地域の可能性を伝える「ブランディング」

山口フィナンシャルグループは、「この世界で。この街で。このじぶん。」というブランドスローガンを掲げ、CM やポスターなどを通じて、地域から広がる可能性や暮らす人たちの想いを発信しています。２０２６年には２０周年に合わせて「壁だと思っていたら、扉だった。」をテーマにした CM をつくりました。見方を変えて一歩踏み出すことで、新しい可能性への入り口になるという想いをこめて、挑戦する人を応援しています。

